

桃井第二小学校改築及び併設 1 施設建設工事説明会議事録（要旨）

○開催日時・会場

平成 29 年 7 月 4 日（火） 19 時～20 時 30 分
桃井第二小学校仮設体育館

○出席者

近隣住民等 27 名
学校整備課長
学校整備担当課長
児童青少年課長
子どもの居場所づくり担当課長
施設再編・整備担当課長
施設整備担当課長
興建社・佐藤・矢島・友伸建設 JV
牧野・清田建設 JV
シンコー・新開建設 JV
峯尾・黒澤建設 JV
株式会社日本オーティス・エレベーター(株)
株式会社綜企画設計

○議事

1. 区職員・解体業者・設計担当者紹介、挨拶
2. 概要説明（別紙資料参照）
3. 質疑応答（要約）

【凡例】 Q…質問、要望など A…回答及び説明

Q：工事の騒音についてですが、解体工事による振動が半年続きました。近くでやっている別の工事合わさって増幅しているように感じます。騒音振動計についてはどのように設置しているのでしょうか。また、今後の工事ではどうする予定でしょうか。

A：今までは工事現場の西側と東側に設置しており、規制値はオーバーしていません。今後も引き続き、西側と東側にて測定致します。騒音振動の感じ方は人それぞれですので、何かございましたら、お電話にてその都度、個別に対応させていただきます。

Q : 同じマンションの住民が区に電話して解体工事の粉塵に困っていると伝えたところ、その後、工事関係者から謝罪の電話があったそうなのですが、それはプライバシーの侵害ではないのでしょうか。また、学童クラブ・放課後居場所についての概要をお聞かせください。また、現在使用している仮設校庭について、確保にさせていただきありがとうございます。引き続き、このような屋外遊び場の確保をお願いします。

A : 本来であれば、工事業者から連絡を入れさせる旨を伝えるべきでした。申し訳ございません。

学童クラブについては当初の計画より学校内に整備する予定です。それに基づき、今回改築する桃井第二小学校では、学校内に学童クラブを整備し、また、児童館の一般来館の機能は、放課後等居場所事業として、同じく学校内に整備していきます。児童が、移動することなく安全に学校内で過ごすことができるとともに、空き教室や校庭、体育館などの多様なスペースを利用できる計画です。

屋外遊び場については、この近隣には場所がないため、代替えの校庭としては、近隣の学校である松溪中学校や荻窪高校を利用する計画です。

Q : 今回の説明会では学童クラブや放課後居場所事業の詳細な説明が聞けると思っていたのですが、それはないのでしょうか。本資料についても平面図などの資料を添付していただけたらよかったですのですが、説明会の資料は事前に配布することはできないのでしょうか。

A : 今回の説明会はあくまで「工事の進め方」が主な内容ですので、何かお知りになりたいことがございましたら、個別に対応させていただきます。平面図については、昨年の説明会などの資料として配布しており、学童クラブや放課後等居場所事業の面積につきまして、それ以来、大幅な変更はございません。

工事資料の事前配布というのは、準備期間などを考慮するとなかなか困難です。

Q : 現在、子どもがあんさんぶる荻窪を利用しているのですが、桃井第二小学校の放課後等居場所事業は土日も利用できるのでしょうか。

A : 放課後等居場所事業は土曜日については運営します。日曜日は運営しませんが、天沼三丁目複合施設の子ども子育てプラザは運営します。子ども子育てプラザは、主に乳幼児向けの施設ですが、小学生も利用できますので、そちらをご利用頂ければと考えております。

Q : 工事車両についてサブゲート（西門）が登下校動線と重なりそうなので不安がありますが、大丈夫でしょうか。また、来年改築中には仮設校庭もなく、あんさんぶる荻窪もないのですが、子どもの居場所はどこかに確保できているのでしょうか。また、桃井第二小学校内の放課後等居場所事業には定員などあるのでしょうか。

A : サブゲート付近は徐行を行い、交通誘導員も配置するため、問題ありません。

来年度は杉並保健所4階を整備して、居場所を確保します。また、定員は設けない予定です。

Q：仮囲いは既存の塀のどちら側になるでしょうか。また、本工事に伴い、西側道路に交通規制などおこなうでしょうか。また、先の解体工事にて騒音振動計を樹木伐採中にも関わらず撤去したのはなぜでしょうか。

A：道路沿いの塀を撤去しながら仮囲いを組むため、ほぼ同位置に行います。なお、交通規制は予定しておりません。騒音振動計については、撤去する部分と騒音振動計が重複したため、やむをえず事前に撤去致しました。

Q：学童クラブが来ることに對し、保健所の職員が正直迷惑だと言っているような話が聞こえます。動線などきちんと区画できるのが不安です。また、子どもの居場所に関しては、計画当初、あんさんぶる内の荻窪北児童館を丸ごと移転するという話だったが、現状の計画はそれと異なっております。それについては裁判にもなっており、再三、説明会を要望しているにも関わらず、未だに開けて貰えていないことを不満に思っております。とにかくあんさんぶる荻窪が無くなって、子どもの遊び場がなくなるのはいかかなものかと思えます。

A：まず、区として「児童館を丸ごと桃井第二小学校に移転する」と説明したことはございません。子どもの遊び場がなくなるということですが、1年間は杉並保健所、その後は桃井第二小学校内ということで、子どもの居場所を継続的に確保する計画になっております。これまでも申し上げているとおり、子どもの居場所をすべて児童館のみで確保するというのではなく、例えばこの近隣では教会から寄贈いただいた土地を公園として整備するということがありますが、様々なかたちの受け皿を地域の中で確保していくという考えです。

Q：解体の際に騒音振動がうるさくて区役所に電話したら、すぐに対応してもらい静かになりましたが、そうしたことは、クレームを入れる前に対応できないものでしょうか。また、サブゲートには通勤用車両が待機したりしないのでしょうか。

A：解体についてはご迷惑おかけしました。新築ではそれほどの振動はないと考えておりますが、気になることがあればご連絡下さい。なお、ゲート付近には待機しないように致します。

Q：解体の際には、校内の揺れがひどかったのですが、新築では学校と連携をとって校内のイベントなどを考慮できるのでしょうか。また、旧若杉小学校のプールを利用していますが、バスは何人乗りを何台でシートベルトはついているのでしょうか。

A：騒音振動については、今後とも、学校と連携をとり、イベント時などは抑えられるように調整致します。

バスについては100人程度乗車できる路面バスを2台貸切利用しています。移動距離が2km程度のため、乗り降りの効率を考慮して、シートベルトのない路面型としております。

Q：仮設校舎と工事現場の離隔はどの程度でしょうか。また、同程度の事例はほかにあるのでしょうか。

A：最近接部分で 2.8m、平均で 4m 程度です。他では井草中学校が約 4m、松溪中学校が約 3m という事例があり、桃井第二小学校は比較的近接しております。ただし、仮設校舎内の普通教室を工事現場と逆側に配置したり、サッシの防音性能を上げたりという対応をしております。

【要望】

まず現場をよく見てください。そして子どもの苦労を味わってください。そして皆さんから気づいて対応してください。こうした説明会に環境系の職員がいるといいかとも思います。また、公開しているデータを増やしてください。

【要望】

前々からの依頼ですが、白旗桜を残して下さい。高井戸第二小学校などの事例がありますので、それを参考にしてください。